

## 活動を工夫して「ゆいのもり」を訪問しました！

9月15日(火)に後期課程の15名が八女市特別養護老人ホーム「ゆいのもり」を訪問しました。本来は、7月に行う予定で準備していましたが、新型コロナウイルス感染防止のために実施するかどうかを「ゆいのもり」さん側と話し合いながら訪問活動を約2ヶ月延ばしました。また、ふれあい活動の内容も密接や近くでの会話を避ける観点から再検討して準備を進めました。

「ゆいのもり」訪問当日は、これまで準備してきたふれあい活動の内容を大きく変更したため、思った通りに進めることができず、子どもたちに戸惑いも見られました。それでも進めていく中で、お年寄りの皆さん方の温かい拍手や明るい受け答えの言葉に励まされ、言葉のかけ方や質問の仕方を変えたり、箱の中身の見せ方を変更したりと様々な修正をしながらやり遂げることができました。

直接お年寄りの皆さん方とふれあいができないなど、昨年までと全く違う形での「ゆいのもり訪問活動」に対して、子どもたちが、課題に気づき、解決に向けていろいろと対策を考え、表現しようとした今回の経験は、子どもたちを大きく成長させてくれたと思っています。訪問を受け入れてくださった「ゆいのもり」の皆様ありがとうございました。子どもたちの感想を一部紹介します。

- おじいちゃんやおばあちゃんが、八女弁クイズを出すとすぐに分かって、すぐに答えていたのですごいと思いました。おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に楽しむことができてよかったです。改善した方がよかったところは、クイズの答えが分からなかったり、少し惜しいような答えが出たりしたときに、どう対応すればいいのか分からなくて時間がかかってしまったところです。
- ぼくは、おじいちゃんやおばあちゃんが紙芝居を真剣に聞いてくれて嬉しかったし、虫食いクイズでも積極的に発表してくれたのでよかったです。おじいちゃんやおばあちゃんの顔を見ると、みんな笑ってくれたり、笑顔だったりしたので、もっと頑張ろうという気持ちになりました。
- 今日は「ゆいのもり交流会」をして、とても嬉しくて楽しかったです。なぜかというと、コロナウイルスで家族とも面会することができない「ゆいのもり」でこんな楽しいイベントが行えたことです。予防もバッチリでとても安心した環境で活動が行えました。僕のおじいちゃんやおばあちゃん、お母さん、お父さんも年を取ったら感謝の気持ちを忘れず、介護やコミュニケーションを楽しみたいです。



# 八女地区新人陸上大会で頑張りました！

9月17日(木)に久留米陸上競技場で八女地区新人陸上大会が開催されました。午後から強い雨が降る予報が出ていましたが、久留米陸上競技場付近は終日曇りだったため、無事に大会が行われました。本校からは、7年生と8年生の10名が参加しました。新型コロナウイルス感染防止のため、保護者の皆様の観覧はご遠慮していただきましたが、子どもたちは全力を出して競技しました。陸上大会は終了しましたが、後期課程15名の子どもたちは、11月に行われる八女地区駅伝大会に向けて、すでに練習を頑張っています。今後も応援をお願いします。

本校から3名が8位までに入賞しましたのでお知らせします。

○I・T：共通男子400m6位、共通男子走り幅跳び7位

○K・S：共通男子走り高跳び6位

○K・A：2年男子1500m8位



# 風味豊かな沖縄のパイナップルが給食に登場！

9月18日(金)の矢部清流学園の給食になんと沖縄から送っていただいたパイナップルが登場しました。このパイナップルは、S・Jさん、Bさん兄弟のおばあちゃんでお住いのK・Mさんから提供していただきました。矢部清流学園の子どもたちにも沖縄のパイナップルを食べてもらいたいとの思いからたくさん送っていただきました。子どもたちのK・Mさんへの手紙を紹介します。

○パイナップルありがとうございました。とても甘くて、美味しかったです。みんなで「甘いね！」といって食べました。

○とても甘くて美味しかったので、また食べたいと思いました。沖縄のパイナップルは初めて食べて、とても甘くてびっくりしました。

○とても美味しかったです。このパイナップル食べたので、勉強頑張ります。

○ばーばーへ、美味しいパイナップルありがとう。いつかそっちに会いに行くよ。

